

秋田市の秋田商業高校2年の金椿生さん(17)が、新たなサービスにつながる日常生活の困り事を募り、その発想力などを競うコンテスト「サービス創造大賞」で、優秀

賞に選ばれた。最高賞の大賞は該当者がおらず、優秀賞に唯一選ばれた金さんが最高成績。「まさか自分のアイデアが選ばれると思わなかった」と喜びを語った。

## 全国高校生コンテスト「サービス創造大賞」

# 金さん(2秋商)が優秀賞

コンテストは新たなサービスをつくり上げる重要性を広く社会に知ってもらおうと、全国の高校生を対象に千葉商科大学(千葉県市川市)が開催している。15回目となる今回は、日常生活の中で感じる困り事のエピソードを考え、それを解決してほしい企業を指名する形で募集した。昨年7月1日〜9月30日までの間に各地から954件の応募があり、共感性や発想力、エピソードの具体性などの観点から審査された。

## フリマアプリ 商品販売の困り事



「サービス創造大賞」で優秀賞に選ばれた金さん

### 梱包、発送代行サービス考案

金さんが所属する秋田商業高校商業科の情報コースでは、企業がアイデアを商品に形にするまでの過程を学ぶため、夏休みの課題にコンテストへの応募を取り入れた。趣味で集めたグッズを売るため、フリマアプリをよく利用するという金さんは、グッズの大きさや形によって取り扱いが変わる梱包や発送作業に手間

取った自らの経験に着想を得て、ビジネスにつながるアイデアとして構想を練ったという。

先月の結果発表を受け、金さんは「身の回りの小さな悩みでもビジネスにつなげられることを知った。進学や就職をしても、ニーズを吸い上げ、アイデアの力で解決できないか探る視点を大事にしていきたい」と語った。

(清水美沙)